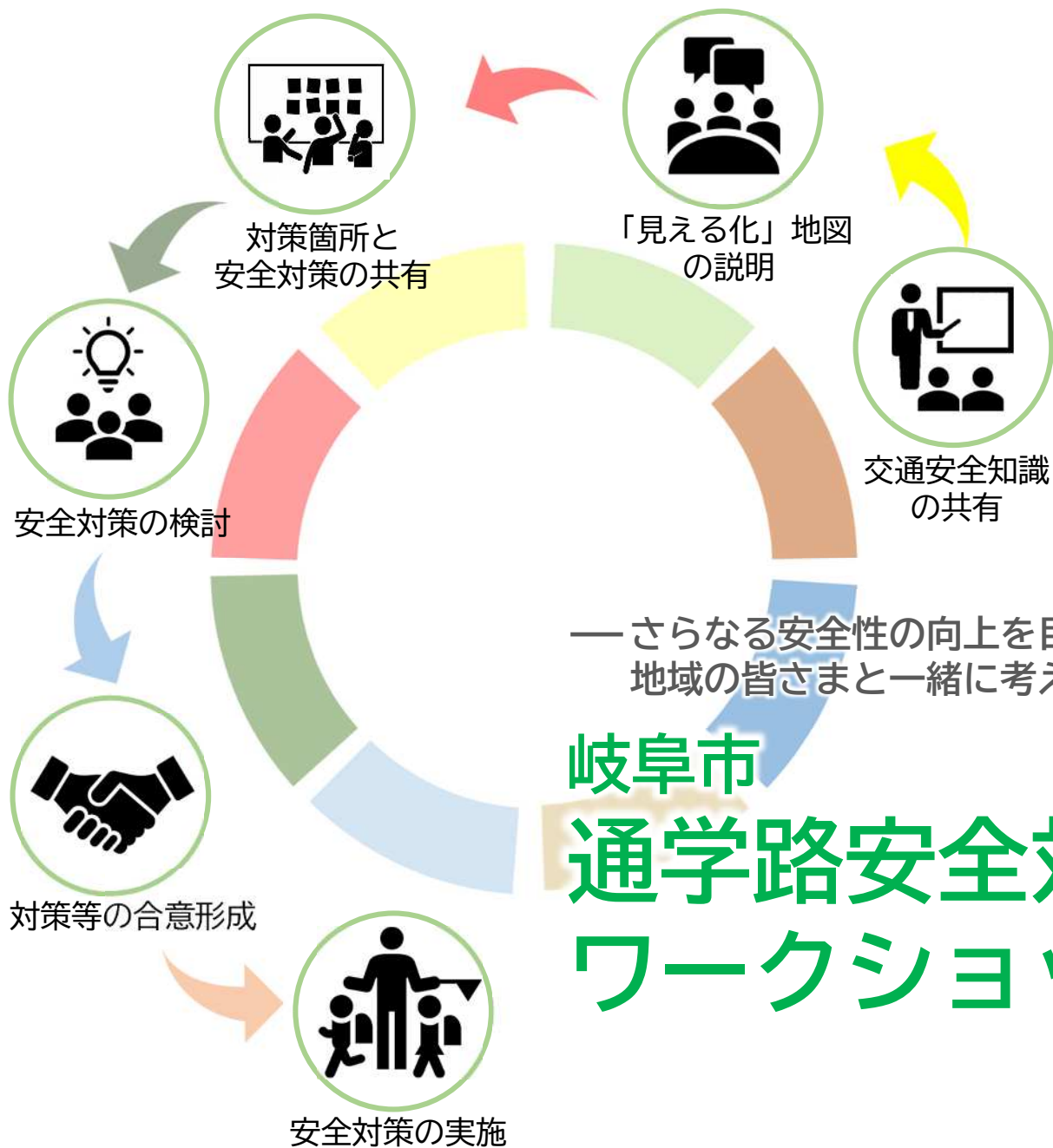




岐阜市 通学路安全対策 ワークショップ



「見える化」地図の説明



対策箇所と安全対策の共有



対策等の合意形成



安全対策の実施

令和7年1月
岐阜市

1 通学路安全対策ワークショップの概要

01 はじめに

- 本市では、これまで地域の皆さまや関係機関との協働により、様々な施策を行い、ハード対策とソフト対策の両面から通学路の安全対策に取り組んできました。

- 学校、教育委員会、PTA、警察などによる通学路の合同点検を実施
ハード対策では、歩行空間の確保や車両速度を抑制するための対策を実施するとともに、ソフト対策では、地域の皆さまによる見守り活動や警察による制限速度の規制などを実施

【これまでの経緯】

平成24年度	京都府における小学生等の交通事故の発生を受け、通学路の緊急合同点検を実施
平成26年度	「岐阜市通学路交通安全プログラム」策定 市内の全小学校を3年で1巡するよう合同点検を実施
令和3年度	千葉県における小学生の交通事故の発生を受け、緊急合同点検を実施

- さらなる通学路の安全性向上に向け、令和5年度から地元自治会や見守りボランティアなどの各種団体から地域の交通事情に精通した方々にご参加いただき地域の皆さまが主体となってご検討いただく**通学路安全対策ワークショップ**を実施
(R5年度：4校区先行実施、R6年度：21校区)

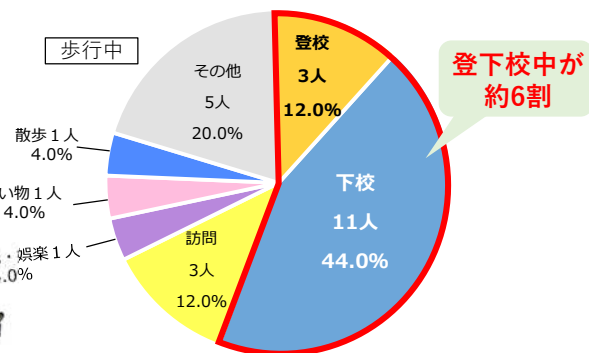
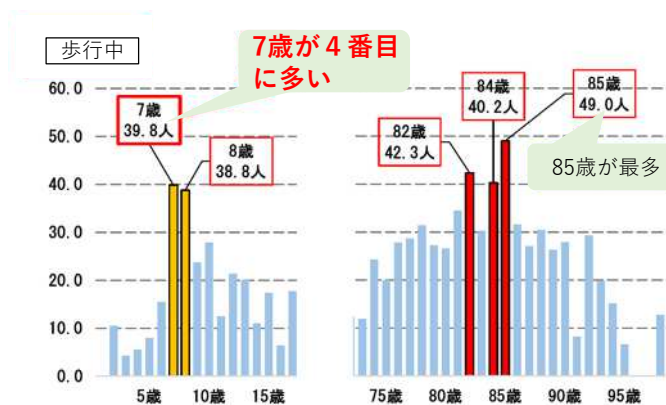


02 交通事故の発生状況

- 県内の交通事故の発生状況(R元年～R5年)を見ると年齢別の人口10万人当たりの死傷者数は、85歳が最多で次に82歳、84歳と高齢者が多く、続いて7歳が4番目、8歳が5番目に多くなっています。
- また、7歳(小学1年生)の歩行中の事故を見ると、登下校中の割合が約6割を占めています。

■ 年齢別・人口10万人当たりの死傷者数

■ 7歳(小学1年生)の通行目的の割合



【出典】R5年岐阜県警察 交通事故統計・分析より

03 ワークショップのねらいと効果

- 通学路安全対策ワークショップの実施により、以下のような“ねらい”と“効果”が期待されます。

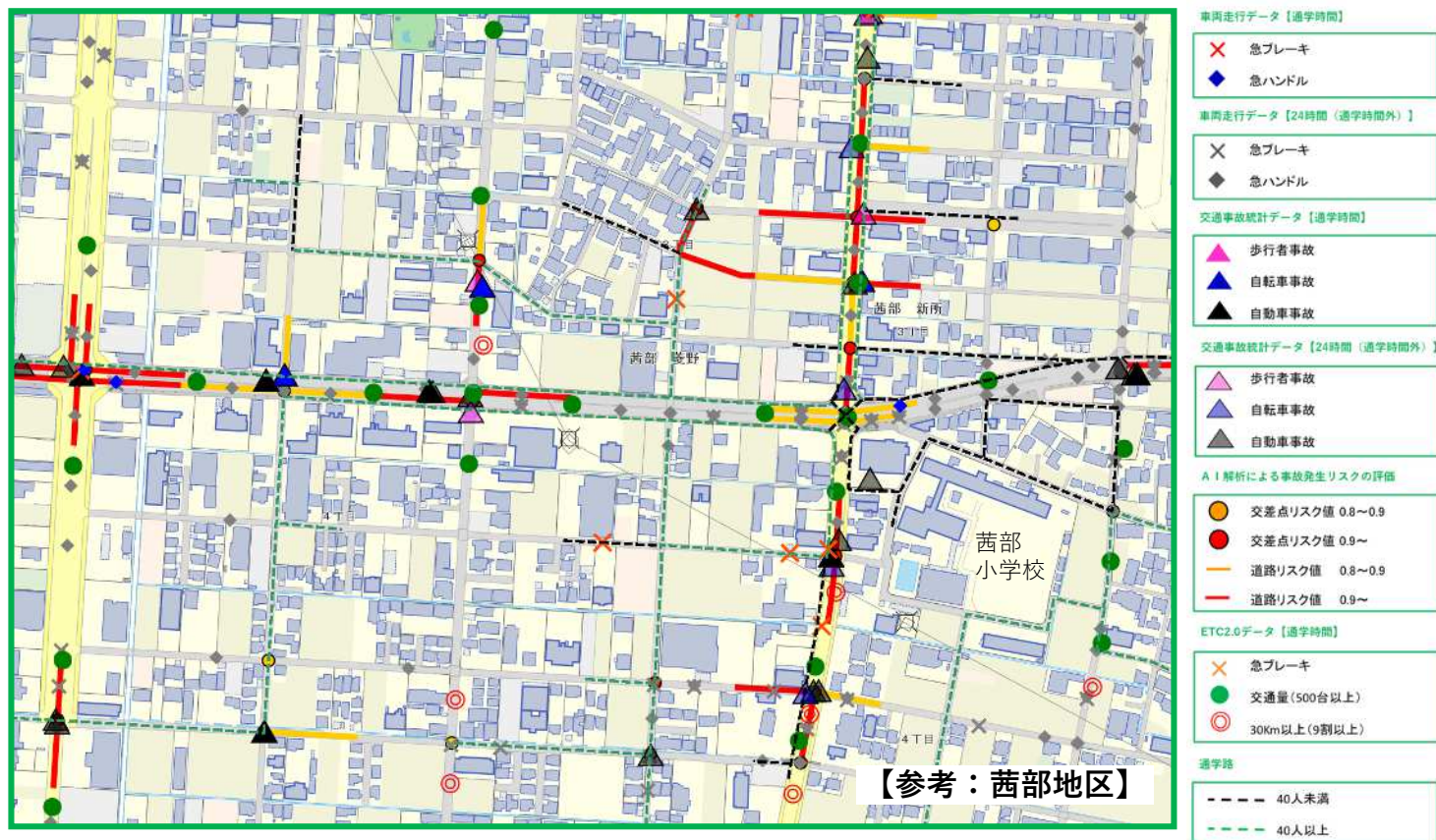
- ビッグデータを活用しエビデンスに基づいた効率的・効果的な安全対策の検討・実施
- 住民主体のワークショップによる合意形成プロセスの確立により、さらなる住民自治を推進
- 子どもたちを地域全体で守り・育む意識の向上により、シビックプライドを醸成



▲ワークショップの様子

危険箇所の見える化地図

- 車両走行データなどのビッグデータや3D都市モデルによる見通し解析、AIによる事故発生リスクの評価などを活用し、潜在的な危険箇所を「見える化」した地図をもとに対策検討箇所の選定、具体的な安全対策の検討を行います。



安全対策と優先順位の決定と実施

- ワークショップでは、参加者の皆さまで話し合ってください、対策箇所の選定、具体的な安全対策の検討を行います。
- また、対策箇所の優先順位の決定を行い、参加者全員で合意を形成します。
- ワークショップ実施後、決定した対策箇所及び優先順位に基づき、ハード対策とソフト対策の両面から対策を実施していきます。
- 対策実施とあわせてフォローアップを地域の皆さまと進めます。

➤対策箇所と安全対策を検討



▲ワークショップの様子

➤対策箇所の優先順位の決定

- 優先順位 1 交差点カラー舗装
待場整備
- 優先順位 2 安全教育
注意喚起看板
- 優先順位 3 時間通行規制
通学路の変更

▲優先順位表(例)

安全対策の実施

➤ハード対策・ソフト対策の実施

歩道整備



見守り活動



▲安全対策(例)

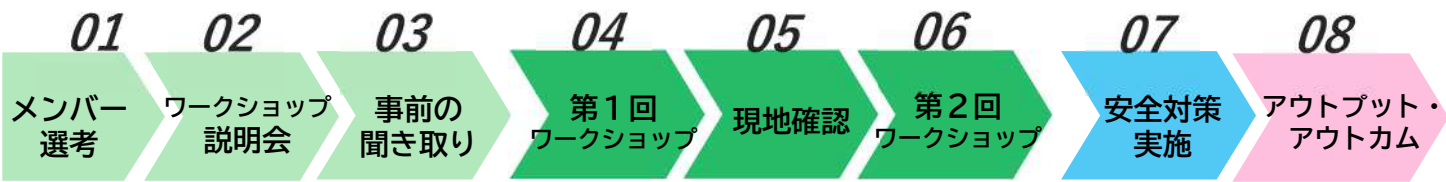
➤フォローアップ

効果検証

- ・ハード対策、ソフト対策の効果
- ・対策箇所、優先順位の組替

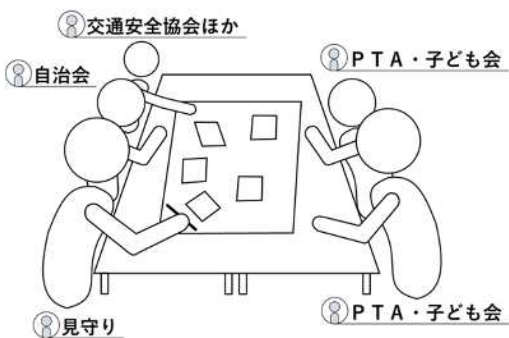
全体フロー図

●通学路安全対策ワークショップとその後の安全対策について、以下のように進めていきます。

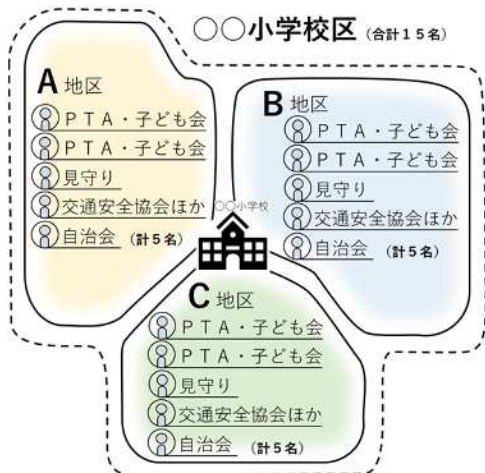


01 地域各種団体から参加メンバーを選考 4月

- ワークショップにご参加いただく皆さまは、PTA・子ども会、見守り・交通安全協会、自治会など地域の交通事情に精通する各種団体の方々です。
- ワークショップは、小学校区ごとで行いますので、校区ごとにメンバーの選考をお願いします。
- 各校区にて、さらに複数のテーブルに分かれ、話し合います。(テーブルワーク)



▲ テーブルワークのイメージ



▲ 校区の分割イメージ

02 第1回ワークショップへの参加（説明会） 5月

- 最初に第1回ワークショップ（説明会）を開催します。

◆安全対策(ハード・ソフト)の取組紹介

➢説明会では、見守り隊など地域の方々や警察などの通学路の安全に関する取組を紹介し、安全知識を共有していただきます。

◆危険箇所の見える化地図の重要性(読み解き)の説明

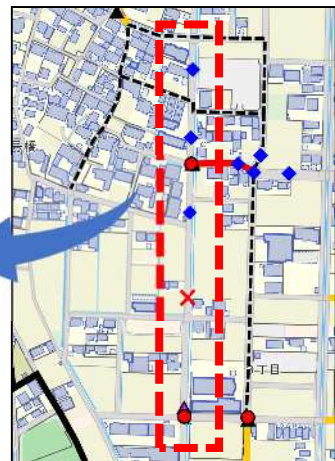
➢潜在的な危険箇所を「見える化」した地図を説明させていただき、客観的データに基づいた対策箇所の選定や具体的な対策検討の重要性について、ご理解いただきます。

急ブレーキ	: 1回	急ハンドル	: 6回
歩行者事故	: 1件	自動車事故	: 3件
交差点リスク値	: 0.9	道路リスク値	: 0.9

エビデンス(客観的データ)に基づいた課題解決が重要！



▲ 説明会の様子



03 参加者による危険箇所の事前聞き取り 6月

- 第2回ワークショップに向けて、参加者の皆さまに所属団体や地域の方などから危険箇所の聞き取りをお願いします。
- 見える化地図を活用して、対策検討箇所を絞り込んで選定してください。
- 参加者お一人あたり2～3箇所とし、見える化地図に記入してください。



▲ 事前の聞き取りイメージ

04 第2回ワークショップへの参加 7月

- 参加者の皆さまはテーブルごとに分かれ、事前に聞き取りしていただいた対策検討箇所や安全対策を話し合い、共有していただきます。

◆対策検討箇所と安全対策を参加者で共有

- 対策検討箇所は、1テーブル10箇所以内（校区全体で30箇所以内）に絞り込み、選定していただきます。

◆具体的な安全対策を検討

- 安全対策を例示したメニューリストを参考にテーブルごとに具体的な安全対策を検討していただきます。



▲ 事前聞き取り内容の共有



▲ 参加者による議論と検討



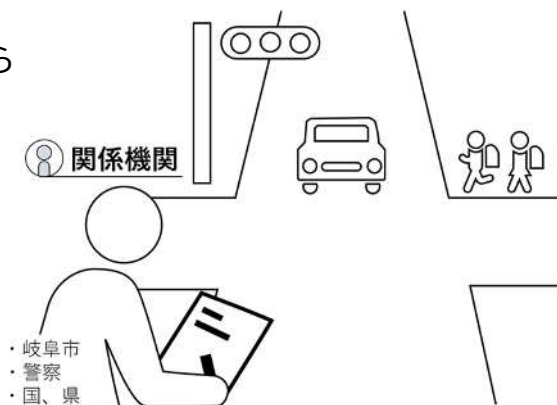
▲ 安全対策のメニューリスト(例)

05 警察や道路管理者による現地確認 8～9月

- 第2回ワークショップにて選定された対策検討箇所について、各関係機関(岐阜市、警察、国・県)がそれぞれ現地調査を行い、道路や交通状況などから安全対策の実施の可否等を確認します。



▲ 現地確認の様子



▲ 現地確認のイメージ

06 第3回ワークショップへの参加 10月

- テーブルごとに安全対策及び優先順位を決定し、全体場で発表していただきます。
- 校区全体の対策実施箇所は、概ね10箇所を想定しています。
- テーブルごとの決定内容を全体場で共有し、校区全体の対策実施箇所と優先順位について、参加者全員で合意を形成します。

◆安全対策と優先順位の決定

➤ テーブルごとに
対策箇所を点数づけ

【例】Aテーブル

番号	通学 路人数	事故 実績	急 ブレーキ・急 ハンドル	A Iリス ク値	地 域の 意見	総 合 評 価
A 1	△	◎	○	○	△	9
A 2	◎	△	○	◎	○	11
A 3	○	◎	◎	○	○	12
A 4	○	△	△	◎	△	8
A 5	◎	△	◎	△	○	10
A 6	○	○	△	△	△	7

◎:3点、○:2点、△:1点

➤ テーブルごとに優先順位を
決定し、対策箇所を絞り込む

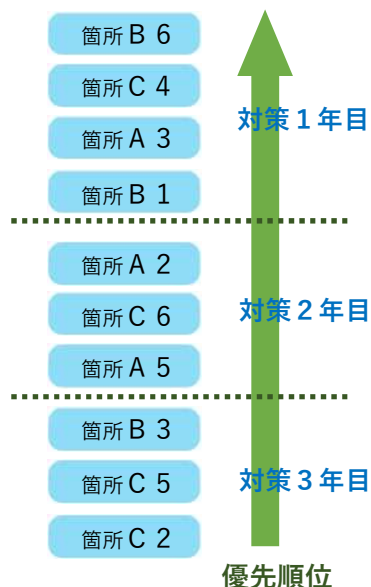
【例】Aテーブル

優先 順位	箇所	総合 評価
1	A 3	12
2	A 2	11
3	A 5	10

【例】Bテーブル

優先 順位	箇所	総合 評価
1	B 6	13
2	B 1	12
3	B 3	10

➤ 校区全体の優先順位を決定



◆参加者全員の合意形成



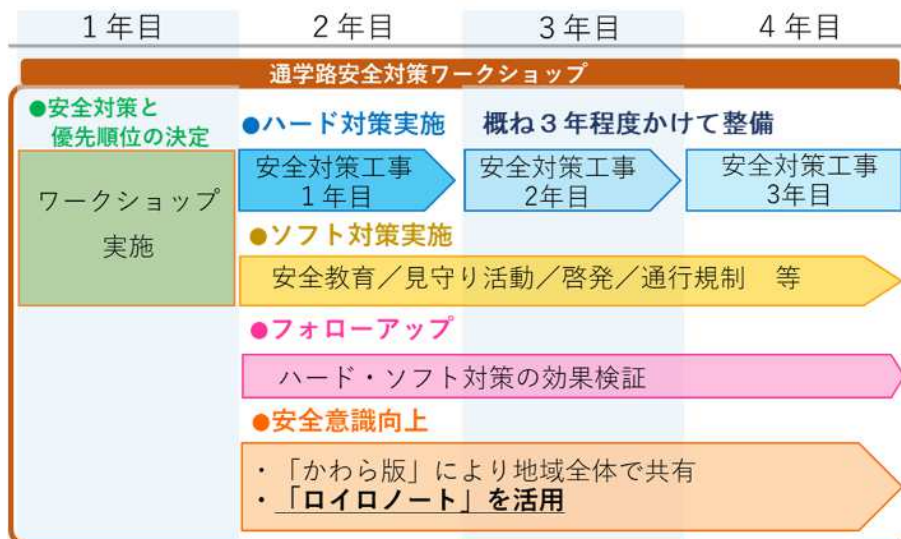
▲ 参加者全員の合意形成



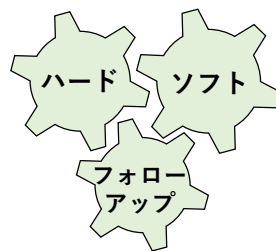
▲ 決定した安全対策(例)

07 安全対策実施とフォローアップ

- ワークショップにて決定した対策箇所及び優先順位に基づき、概ね10箇所を3年程度かけて地域の皆さまとの協働により、ハード対策とソフト対策の両面から対策を実施していきます。
- また、対策実施とあわせてフォローアップを行い、対策実施の進捗や効果の確認とともに交通事情の変化などに応じて対策箇所や優先順位の組替など、地域の皆さまと進めます。



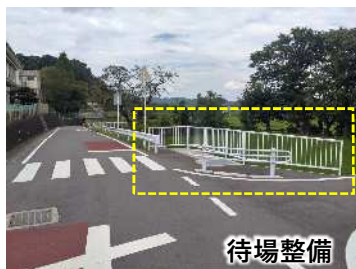
- 通学路の安全性向上には、待場の整備や交差点・路肩のカラー舗装などのハード対策とともに日頃から地域にて実施されている見守り活動や安全教育、通学路変更などのソフト対策が重要となります。
- 地域の皆さまや警察などの関係機関との協働により、ハード対策とソフト対策の両面から効率的・効果的な安全対策を進め、一層の安全性の向上を目指します。



ハード対策とソフト対策、さらにフォローアップにより効率的・効果的な安全対策を推進

アウトプット

ハード対策



ソフト対策



【安全意識の向上】



【安全意識の向上】

フォローアップ

効果検証

- ・ ハード対策、ソフト対策の効果
- ・ 対策箇所、優先順位の組替

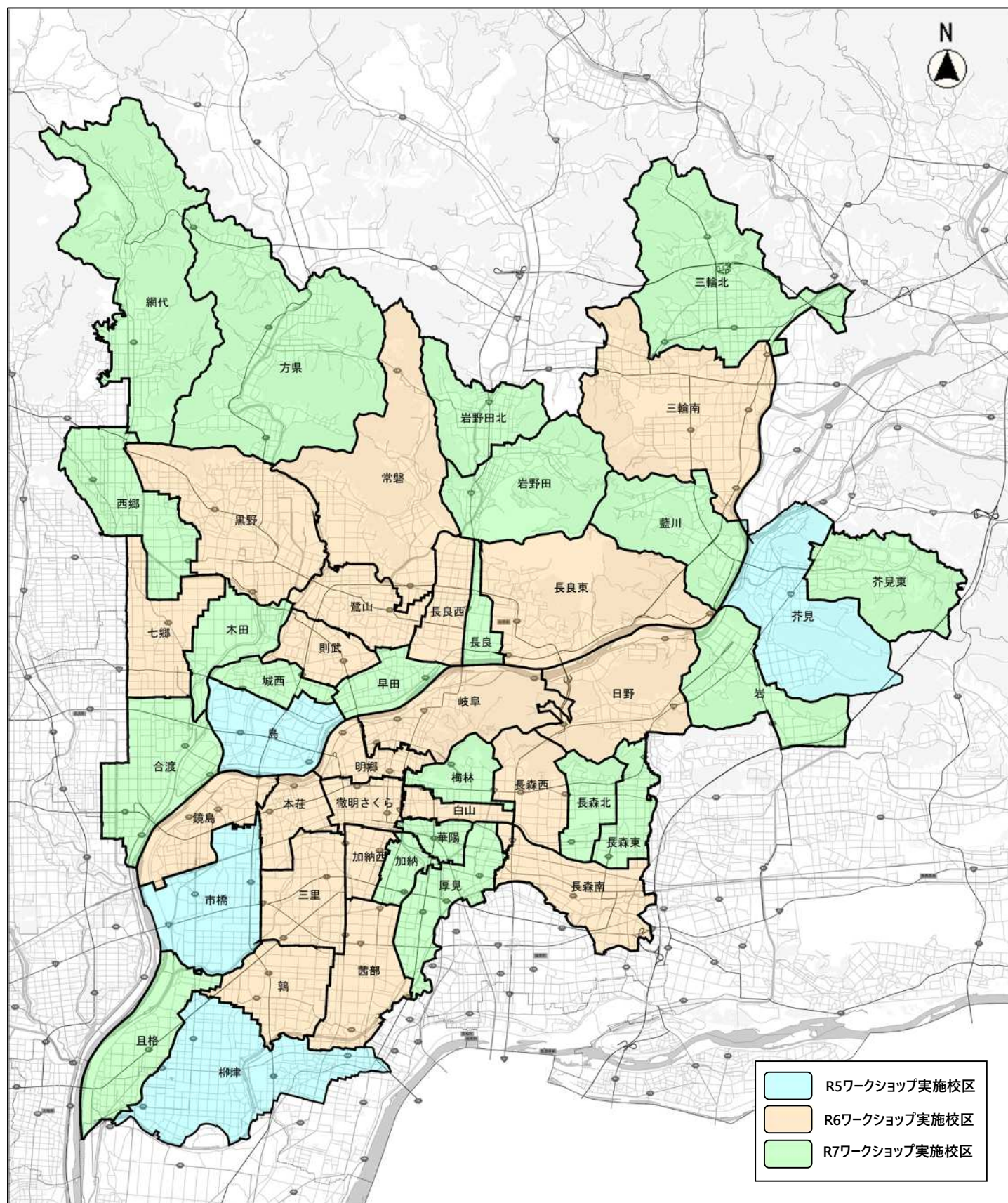
アウトカム

通学路の安全性の向上

- ・ ハード対策とソフト対策、さらにフォローアップにより効率的・効果的な安全対策を進め、通学路の安全性を向上

事故を防ぐ行動変容の促進

- ・ 交通安全に対する意識の醸成により事故を起こさない、事故に遭わない行動変容を促進



通学路安全対策ワークショップ

令和7年1月 改訂

岐阜市 基盤整備部 道路建設課

〒500-8701

岐阜市司町40番地1

☎(058)214-2191(直通)